

バリアフリー推進ネットワークについて

(正式名称：交通バリアフリー推進支援連絡協議会)

バリアフリー推進ネットワークは、交通エコロジー・モビリティ財団、(財)全国老人クラブ連合会、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会、社会福祉法人日本盲人会連合、(財)全日本聾唖連盟本部、主婦連合会、土木学会(高齢社会における交通システム整備の体系に関する研究小委員会)、日本福祉のまちづくり学会の各団体が設立の中心となり、2001年10月31日に「交通バリアフリーの推進と支援に関する宣言」(伊丹宣言)を発表し現在に至っています(前記8団体が幹事、事務局は交通エコロジー・モビリティ財団)。全国でこれまでに、ボランティア団体等をはじめ193団体(平成17年11月1日現在)が参加し、地方公共団体が作成する移動円滑化基本構想作成への支援^{注)}やお互いの活動の情報交流等を通じて、交通バリアフリー推進支援連絡協議会参加団体のネットワークとして市民レベルでの交通バリアフリーの推進を図っています。

(参考)伊丹宣言：http://www.ecomo.or.jp/itami_sengen/itami_2_bun.html

注)「交通バリアフリー推進セミナー」をこれまでに全国で12回開催しています。(ただし、平成13年は「交通バリアフリー推進セミナー」として10回、平成14年は「交通バリアフリー基本構想策定セミナー」として2回開催)